

1年★学年通信

令和2年4月28日発行・第2号
京都府立洛西高等学校

「不要不急の外出をしないように」と言われ窮屈な毎日かと思いますが、1年生のみなさん元気に過ごしていますか？規則正しい毎日を過ごしていますか？これからの高校での学習を充実させるためにも課題等しっかり取り組みましょう。学年通信第2号では国語、英語、数学の担当の先生より学習の仕方を説明してもらいました。参考にして下さい。



国語 ……6組担任 原田先生に学習方法を教えていただきました

「国語の力」とは、またその向上とはどのようなものでしょうか。高校生に求められる「国語の力」は、一つには受験のためのものというのがあるでしょう。その意味では、普通に生活しているだけではダメで、授業を通じてたくさんの発見や習得が出来ることが大事です。ですから、先生から「求められていること」は、丁寧に取り組んでいきましょう。その上で、「求められていること」の意図を理解し、「求められていること」以上のものに自分でチャレンジできる人は、授業の理解が進むだけでなく、積極的に授業をつくっていく「なり手」となることが可能です。そういう人が周りにたくさんいれば、生徒みんなの身につくことも変わり、さらなる発見もあると思います。「国語の力」をつけるためには、特別な特訓をする必要はありません。

今回の春休み中や休業中の課題への取組から、向上のためのポイントを確認しておきます。

- ①見直しや採点を含め、提出課題に十分な時間をかけたか。やっつけ仕事でなかったか。
- ②作文等を書くとき、漢字間違いや適切な言葉選びのために辞書を使ったか。
- ③課題を取り組んだ後、感じたこと・学んだことを実践した（している）か。どうでしょうか。君たちの健闘を期待します。

英語 ……7組担任 山下先生に学習方法を教えていただきました

英語習得において、最も必要な練習活動は音読です。『音読なくして外国語の習得なし』と考えてください。音読をせずに英語の読解が完璧にできるという人は、基本の基本が抜けていると考えられます。例えば、目玉焼きは作れないけど、一流フランス料理ならかかってこい。と言っているようなものです。スポーツで例えるならば、サッカーのリフティングはできないけれど、Jリーグでは得点王になれます。というようなものです。

ではここで音読の仕方について、一例を示します。

- ①すでに習ったことのある英文や英単語を音読しましょう。
- ②モデルの発音を聴いて、恥ずかしがらずに真似ましょう。
- ③文字を見ながら5回、見ずに5回を1セットとして、2セットを目標にしましょう。
- ④音読しながらノートに英語を書いていきましょう。これで英語習得の道が大きく開けます。騙されたと思ってやってみてください。



数学 ……3組担任 日下先生に学習方法を教えていただきました

数学の問題集をしていて、わからない問題の答えをすぐに見ていませんか？

すぐに答えを見ている人は、少し考える時間を取って下さい。その考える時間があればあるほど、数学の力は不思議と伸びていきます。考えても、解き方が一向に浮かばない時は、教科書を読んでください。その単元ではどんな解き方をしていたかを探してみるとヒントになることが見えてくるかもしれません。そして最後に問題集の解答解説を読んで下さい。解説を読むときは答えが合っているかを確認するだけでなく、答えまでのプロセスが合っているかをきちんと確認することが大切です。考える時間を取って、数学の力を伸ばしていきましょう！！